

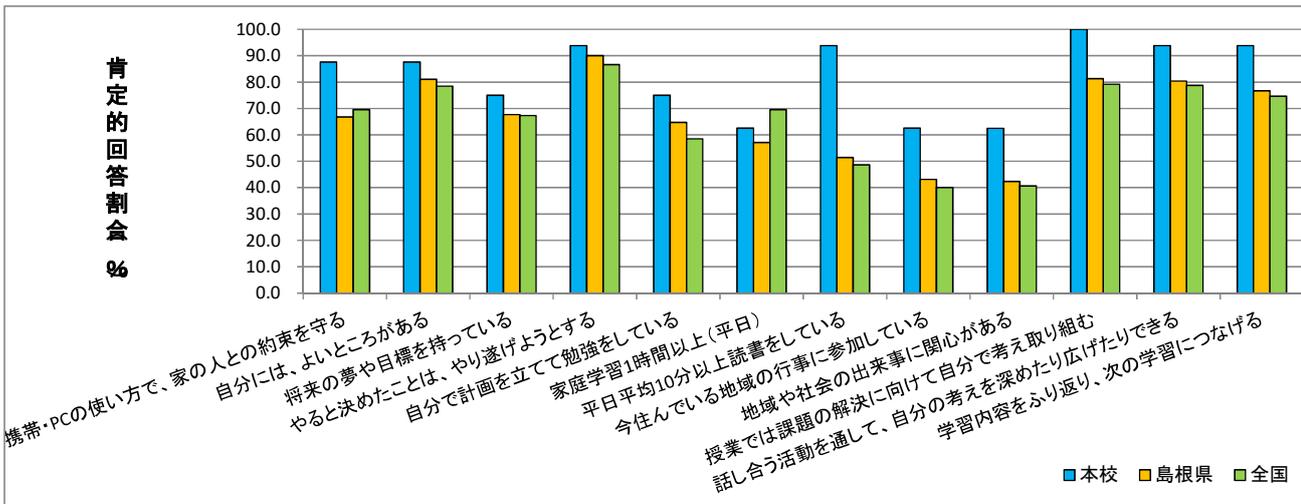
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○行書の書き方について学習内容を踏まえて活用すること。 ○場面の展開や登場人物の心情の変化などを捉えながら、文章の内容を適切に読み取ること。 ●「比喩表現」や「助動詞の働き」等、言葉の特徴を理解し目的に応じて使うこと。	・表現技法の名称は意味や用法とともに整理して理解し、得た知識を実際の言語活動で活用できるようにする。 ・表現技法等を学習活動の中で繰り返し活用し、実際の言語活動で活用できるよう定着させる。
数学	○「関数領域」で表やグラフから情報を適切に読み取ること。 ○「データの活用」領域で箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること。 ●「図形領域」で筋道を立てて考え事柄が成り立つ理由を説明すること。	・問題に対して数学的に考えることや説明ができるよう、言語活動の場面を増やしていく。 ・TIによるきめ細やかな指導を行い基本的な知識・技能を身に付けさせる。
理科	○「エネルギー」領域で、実験の際に変える条件・変えない条件を制御して計画を立てること。 ○「粒子」領域で、モデルで表された化学変化を化学反応式で表すこと。 ●「粒子」領域で、状態変化の際の温度変化と身近な現象を結びつけること。	・単元の導入で、学習内容と関連のある日常生活の中の現象を取り上げ、互いの関連性に着目しやすくする。 ・実験操作を正しく行える技能と、結果を分析する力を養うために、班ごとに活動する時間、話し合いの時間を確保する。

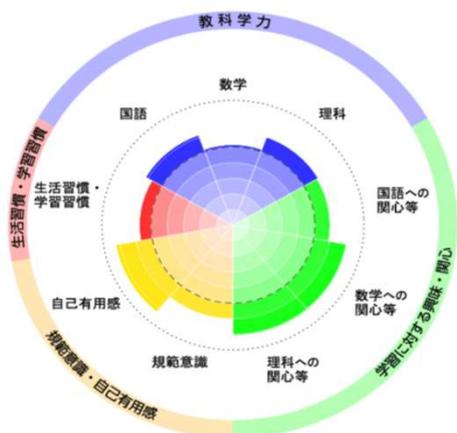
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○「自分にはよいところがある」、「先生は自分のよいところを認めてくれている」、の肯定的な回答が高い。 ○地域の活動に積極的に参加し、関心も高い。 ●計画的に家庭学習に取り組もうとしているが、家庭学習の時間が少ない生徒が多い。	・学校全体での取組、「必修課題」を継続し、計画的な家庭学習の手立てを示す。 ・学校だよりやホームページなどで学校の活動を発信し、地域との連携を充実させる。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・小集団の強みを生かす取組を充実させ、全教員での個にあった学習指導を行う。
- ・集会や行事、特別活動などを通して、他者とのよりよい関わりを考えることのできる機会を設ける。
- ・学校全体で「特別の教科道徳」の授業改善に取り組み、互いに考えを深め合うことのできる授業を展開する。

【受検者数】

16 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。